



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年1月26日

上場会社名 株式会社 アサックス

上場取引所 東

コード番号 8772 URL <https://www.asax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草間 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長 (氏名) 松本 洪輔

TEL 03-3445-0404

四半期報告書提出予定日 2023年2月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,624	10.3	3,240	14.5	3,243	14.6	2,115	13.2
2022年3月期第3四半期	4,192	5.1	2,829	9.7	2,831	9.7	1,868	9.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	64.14	
2022年3月期第3四半期	56.65	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	94,402	42,947	45.5
2022年3月期	83,717	41,425	49.5

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 42,947百万円 2022年3月期 41,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		18.00	18.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,945	5.2	4,126	6.7	4,126	6.7	2,693	6.1	81.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	32,980,500 株	2022年3月期	32,980,500 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	4,500 株	2022年3月期	4,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	32,976,000 株	2022年3月期3Q	32,976,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症との共存に向けた各種政策の効果もあり、経済・社会活動の正常化が進む一方、原材料・資源価格の高騰や為替変動等に起因した物価上昇の進行がもたらす実体経済への影響が懸念されております。加えて、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れや長期化しているロシア・ウクライナ問題の動向、中国における新型コロナウイルスの感染拡大等、国内景気を下押しするリスクについては引き続き留意する必要があります。

不動産金融市場においては、前述のリスクによる影響は限定的であり、都心近郊における住宅地・商業地の地価に大きな変動は見られないものの、今後の不動産の流動性や不動産価格の動向に留意する必要があります。

このような環境の下、当社においては、従来通り「債権の健全性」を重視して債権内容の維持に努めつつも、積極的な顧客開拓を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期末における営業貸付金残高は、前事業年度末の78,224,473千円から7,682,880千円(9.8%)増加の85,907,353千円となりました。

当第3四半期累計期間における経営成績は以下の通りです。

営業貸付金利息は、期中平均貸付金残高が前年同四半期比11.5%の増加となったこと及び延滞債権の解消による利息収入の計上があったこと等が主因となり、前年同四半期比336,648千円(10.9%)の増加となりました。

その他の営業収益は、期中貸付額が前年同四半期比16.4%の増加となったことに伴い、手数料収入が増加となったこと等により、前年同四半期比96,286千円(8.8%)の増加となりました。

以上により、当第3四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比432,935千円(10.3%)の増加となりました。

金融費用は、前年同四半期比11,675千円(4.5%)の増加となり、その他の営業費用は、前年同四半期比4,762千円(0.4%)の増加となりました。

営業外損益、特別損益ともに利益に大きな影響を与えるものはなく、法人税等合計は、前年同四半期比164,914千円(17.1%)の増加となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、営業収益は4,624,971千円(前年同四半期比10.3%増)、営業費用は1,384,004千円(同1.6%増)となり、営業利益は3,240,967千円(同14.5%増)、経常利益は3,243,080千円(同14.6%増)、四半期純利益は2,115,346千円(同13.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の82,966,581千円から6,796,930千円(8.2%)増加の89,763,511千円となりました。これは主として、現金及び預金が1,185,614千円(32.6%)の減少となったものの、営業貸付金が7,682,880千円(9.8%)の増加となったこと等によるものです。

固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の751,155千円から3,887,776千円(517.6%)増加の4,638,932千円となりました。これは主として、賃貸不動産の取得による有形固定資産の増加があったこと等によるものです。

② 負債の部

流動負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の13,561,561千円から533,227千円(3.9%)増加の14,094,788千円となりました。これは主として、未払法人税等が148,364千円(23.5%)の減少となったものの、1年以内返済予定の長期借入金が689,143千円(5.4%)の増加となったこと等によるものです。

固定負債

当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の28,730,794千円から8,629,701千円(30.0%)増加の37,360,495千円となりました。これは主として、長期借入金が8,453,256千円(30.7%)の増加となったこと等によるものです。

③ 純資産の部

配当金の支払い593,568千円があった一方、四半期純利益を2,115,346千円計上したことにより、利益剰余金が前事業年度末比1,521,778千円(3.9%)の増加となり、当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末の41,425,381千円から1,521,778千円(3.7%)増加の42,947,159千円となりました。なお、自己資本比率は45.5%(前事業年度末は49.5%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月25日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,632,569	2,446,955
営業貸付金	78,224,473	85,907,353
販売用不動産	24,586	38,316
前払費用	44,370	40,536
その他	1,126,880	1,425,249
貸倒引当金	△86,300	△94,900
流動資産合計	82,966,581	89,763,511
固定資産		
有形固定資産	95,149	3,946,461
無形固定資産	24,453	21,915
投資その他の資産		
その他	631,552	670,554
投資その他の資産合計	631,552	670,554
固定資産合計	751,155	4,638,932
資産合計	83,717,737	94,402,443
負債の部		
流動負債		
1年以内返済予定の長期借入金	12,774,928	13,464,071
未払金	74,849	33,859
未払費用	35,615	54,888
未払法人税等	630,748	482,383
預り金	15,847	33,566
前受収益	5,396	21,817
賞与引当金	23,727	3,823
その他	449	379
流動負債合計	13,561,561	14,094,788
固定負債		
長期借入金	27,530,056	35,983,312
退職給付引当金	104,600	107,200
役員退職慰労引当金	1,052,838	1,068,175
その他	43,300	201,808
固定負債合計	28,730,794	37,360,495
負債合計	42,292,355	51,455,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	39,118,783	40,640,561
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	41,425,381	42,947,159
純資産合計	41,425,381	42,947,159
負債純資産合計	83,717,737	94,402,443

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益		
営業貸付金利息	3,098,767	3,435,415
その他の営業収益	1,093,268	1,189,555
営業収益合計	4,192,036	4,624,971
営業費用		
金融費用	261,044	272,720
売上原価	—	5,502
その他の営業費用	1,101,019	1,105,781
営業費用合計	1,362,063	1,384,004
営業利益	2,829,972	3,240,967
営業外収益		
受取利息	17	14
関係会社貸付金利息	260	4,232
受取手数料	1,026	570
雑収入	247	756
営業外収益合計	1,551	5,573
営業外費用		
固定資産除却損	451	3,459
営業外費用合計	451	3,459
経常利益	2,831,071	3,243,080
特別利益		
固定資産売却益	—	29
特別利益合計	—	29
税引前四半期純利益	2,831,071	3,243,110
法人税、住民税及び事業税	930,049	1,125,220
法人税等調整額	32,801	2,543
法人税等合計	962,850	1,127,764
四半期純利益	1,868,221	2,115,346

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。